

CAMPUS MASTER PLAN

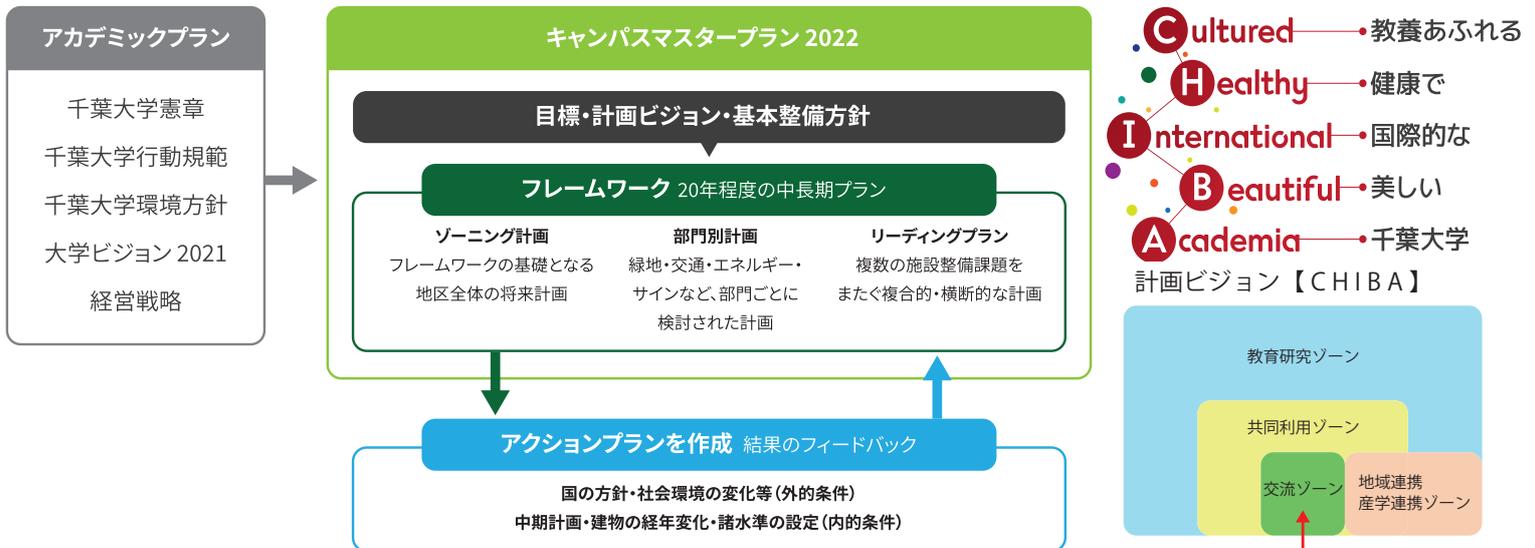
千葉大学キャンパスマスタープラン 2022

千葉大学キャンパス整備企画室
<https://www.chiba-u.ac.jp/campusplanning>



千葉大学には、主要4キャンパスと1サテライトキャンパスがあり（西千葉、亥鼻、松戸、柏の葉、墨田サテライト）、10学部と各種の組織が立地しています。大学は、施設や環境を維持しながら、教育・研究・医療の成果をあげ社会貢献を実現していくことが求められます。キャンパスマスタープランは、そうした大学のアカデミックプランを支えるため、キャンパス全体の環境整備と運用の観点から、長期的な視野とともに、中期的な目標達成のための計画を策定したものです。20年程度の将来を見据え、2012年の発行から現在まで5年ごとに改訂されています。

キャンパスマスタープラン2022では、基本整備方針において、戦略の先にある社会や産業のイノベーション、持続可能性におけるSDGsやカーボンニュートラルなどの地球環境への配慮、多様な人々を受容するダイバーシティ、安全・安心における災害からの回復力を備えたレジリエンスなどの観点を発展させています。その実現のために、従来の交流ゾーン・共同利用ゾーン・教育研究ゾーンからなるゾーニング計画に、地域連携・産学連携ゾーンを加え、複数の施設整備課題をまたぐ複合的・横断的な整備計画としてリーディングプランを定めています。詳細は上記ウェブサイトをご覧ください。



キャンパスマスタープランの構成



キャンパスの位置

ゾーニングの基本形



キャンパスマスタープラン基本整備方針の特長と構成



西千葉キャンパス: 総合校舎・国際教養学部・教育学部 文学部・法政経学部・理学部・工学部
 亥鼻キャンパス: 医学部・薬学部・看護学部
 松戸キャンパス: 園芸学部
 柏の葉キャンパス: 環境健康フィールド科学センター
 墨田サテライトキャンパス: デザイン・リサーチ・インスティテュート